

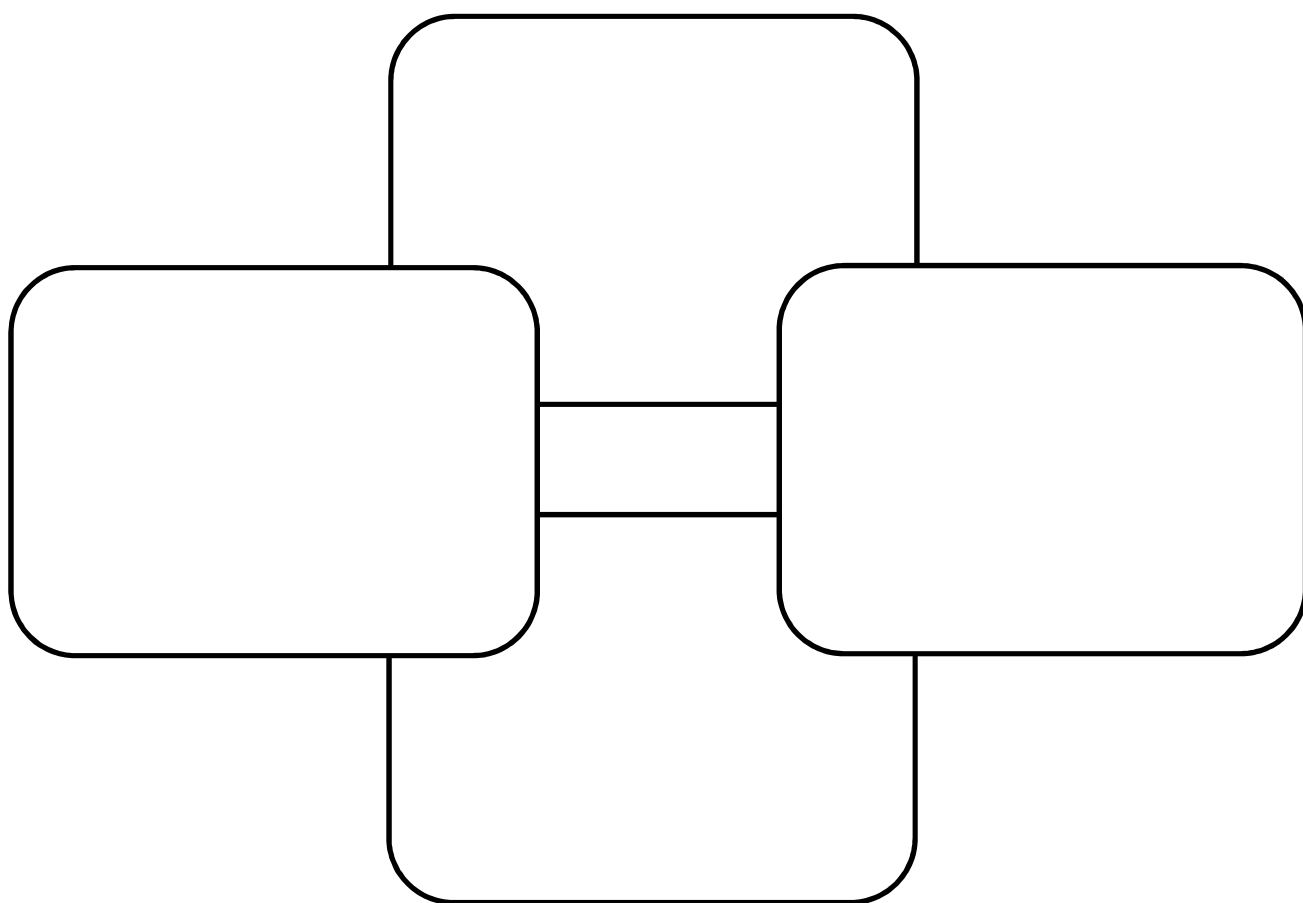
(案)

資料 No. 1 - 2

第四次柏崎市生涯学習推進計画

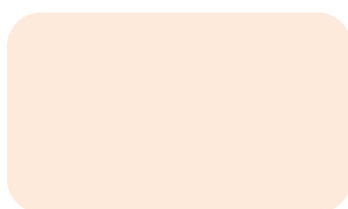
《学ぶ喜びを 未来につなげる
ひとづくり・まちづくり》

【令和 4（2022）年度～令和 7（2025）年度】

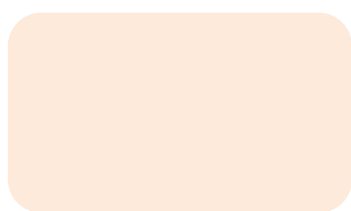


柏 崎 市
柏崎市教育委員会

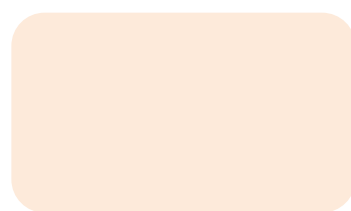
表紙の写真



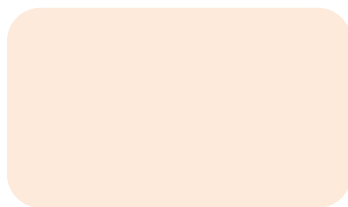
{OOOOO}
OOOOOOOOOO



{OOOOO}
OOOOOOOOOO



OOOOO}
OOOOOOOOOO



{OOOOO}
OOOOOOOOOO

<目 次>

■策定の趣旨	1
■位置付け	1
■取り組む課題	2
■期 間	6
■範 囲	7
■基本目標	8
■重点目標	8
■推進の体系	10
□重点目標別計画の内容（主要施策）	12

◇重点目標1：みんなが学び、成長する ひとづくり・まちづくり

《主要施策》

1－ 1 生涯学習情報の提供体制の充実	12
1－ 2 学習機会の充実と学習提供機関との連携	14
1－ 3 学習相談の充実	16
1－ 4 学習成果の活用と支援	17
1－ 5 学習意欲の向上につながるネットワークづくり	18
1－ 6 指導者の発掘・育成と活用支援	20

◇重点目標2：ともに学び、教え合う ひとづくり・まちづくり

《主要施策》

2－ 1 生涯学習の基礎を育む学校教育の推進	22
2－ 2 学校・地域・関係団体との連携の推進	24
2－ 3 豊かな地域づくりに向けた学習機会の充実	25
2－ 4 安全・安心な地域づくりの推進	26
2－ 5 地域ぐるみの子育て支援環境の充実	28
2－ 6 地域産業の継承と地域資源の活用	30

2- 7	自然との共生社会の推進	32
2- 8	年代に対応した健康づくりの推進	34
2- 9	同和問題、人権問題の正しい理解と平和教育の推進	36
2-10	支え合う地域づくりの推進	38

◇重点目標 3：地域を学び、地域の未来につなげる ひとづくり・まちづくり

《主要施策》

3- 1	地域資源を活用した学習機会の充実	40
3- 2	文化活動の支援と鑑賞機会の充実	42
3- 3	国際交流機会の促進と多文化共生社会の実現	43

◇重点目標 4：スポーツを楽しみながら次世代につなげる ひとづくり・まちづくり

《主要施策》

4- 1	スポーツによる地域づくりや生きがいづくりの推進	44
4- 2	スポーツ施設等の整備・充実	45

◎用語解説〔本文中の※印の付いた用語の解説〕	46
------------------------	----

■ 策定の趣旨

柏崎市では、生涯学習社会にふさわしい学習環境の整ったまちづくりを推進しています。その総合的指針として、平成 29（2017）年度から 5 年間で計画期間とする「第三次柏崎市生涯学習推進計画」を策定し、市民と各種団体・企業・行政など、多様な主体が協働しながら、「学び」を通じたまちづくり・ひとづくりを推進するための施策や事業を実施してきました。

しかし、新潟県中越沖地震の被災、人口減少・少子高齢化の急速な進行、新型コロナウイルス感染症の拡大等、取り巻く社会情勢は急速な変化をもたらし、市民の学習意識や学習ニーズも多様化、高度化、特殊化してきています。

また、行政をはじめ民間団体、企業の学習機会の提供方法については、ICT[※]を活用した提供方法が求められています。

あわせて平成 27（2015）年に、国連本部において全会一致で採択され、令和 12（2030）年までに実現しようとする持続可能な開発目標 SDGs[※]の達成に配慮することも必要となっています。

そのために、第三次計画からの継続性を考慮しつつ、今後の生涯学習推進のための指針として、「第四次柏崎市生涯学習推進計画」（以下、本計画と表記する。）を策定します。

■ 位置付け

教育基本法では、生涯学習の理念について「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と規定されています。

本計画は、この教育基本法の生涯学習の理念に沿いながら、柏崎市第五次総合計画基本構想・後期基本計画、柏崎市教育大綱に連動して、本市の生涯学習の一層の充実・促進を図るための推進体系を示したものです。

また、新潟県が策定した『第 3 次新潟県生涯学習推進プラン』との整合性についても配慮し、総合的な生涯学習の推進を図ります。

■ 取り組む課題

本計画策定にあたり、実施してきた第三次生涯学習推進計画による全事業の推進状況について詳細に評価し、更に直近に実施した市民ニーズ調査の結果を精査しています。これを踏まえて取り組むべき課題を整理しています。

1 市民ニーズ調査による市民の意見とその分析結果からの課題

(1) 市民ニーズ調査の概要と分析

ア 調査の概要

- 調査期間 令和3（2021）年5月26日（水）から
6月21日（月）まで
- 郵送総数 2,000人（前回2,000人）
- 対象者 20歳以上80歳以下の男女
（前回20歳以上89歳以下の男女）
- 回収総数 947人（前回951人）
- 回収率 47.4%（前回47.6%）

イ 属性別集計結果

◇年代別・男女別

選択項目	前回（平成28年1月）					今回（令和3年5月）				
	件数	割合 （%）	男女別			件数	割合 （%）	男女別		
				件数	割合 （%）				件数	割合 （%）
20歳代	28	3.0	男	14	1.5	24	2.5	男	8	0.8
			女	14	1.5			女	15	1.6
			不明	0	0			不明	1	0.1
30歳代	61	6.4	男	21	2.2	56	5.9	男	22	2.3
			女	40	4.2			女	34	3.6
			不明	0	0			不明	0	0
40歳代	73	7.7	男	29	3.0	103	10.9	男	30	3.2
			女	44	4.6			女	73	7.7
			不明	0	0			不明	0	0
50歳代	86	9.0	男	29	3.0	132	13.9	男	56	5.9
			女	57	6.0			女	75	7.9
			不明	0	0			不明	1	0.1
60歳代	182	19.1	男	105	11.0	249	26.3	男	119	12.6
			女	77	8.1			女	129	13.6
			不明	0	0			不明	1	0.1

選択項目	前回（平成 28 年 1 月）					今回（令和 3 年 5 月）				
	件数	割合 (%)	男女別			件数	割合 (%)	男女別		
70 歳代	112	11.8	男	62	6.5	258	27.3	男	139	14.7
			女	50	5.3			女	117	12.4
			不明	0	0			不明	2	0.2
80 歳代	39	4.1	男	23	2.4	17	1.8	男	8	0.8
			女	16	5.3			女	9	1.0
			不明	0	0			不明	0	0
不明・ 無回答	370	38.9	—	370	38.9	108	11.4	—	370	11.4
計	951	100.0	—	951	100.0	947	100.0	—	947	100.0
【内訳】	男性			374	39.3	男性			399	42.1
	女性			426	44.8	女性			483	51.0
	不明・無回答			151	15.9	不明・無回答			65	6.9

ウ 分析結果

- (ア) 前回調査時の回答結果と比べ、「不明・無回答」の数が減少したことから、回収率は、わずかに増加しました。
- (イ) 男女別の回答数では、女性が多く、男性がわずかに少ない結果となり前回調査時と同様の傾向となりました。また、回答率では、前回調査時と比べ、男女の回答割合の差は、5.5%だったものが、今回は、8.9%とその差が大きくなっています。
- (ウ) 年代別では、20歳代、30歳代の若年層の回答率が低く、年齢が上がるにつれて上昇し、退職者層である60歳代以降になると高くなっています。

(2) 市民ニーズ調査から見た課題（市民ニーズ調査の回答の内容を含めています。）

- ア 自由に使える時間が多い曜日は、「日曜日」、続いて「土曜日」の順となっています。また、「決まっていない」と回答した人も16.6%と3番目に多く、何らかの理由で、決められた曜日に休みが取れない環境の中で、空いた時間を自由に使える時間として活用していることがわかりました。そのために、講座やイベントの開催は、結果から得た時間を自由に使える曜日や時間帯を考慮し、柔軟に対応する必要があります。
- イ 個々に行った生涯学習活動について、「コロナ禍ではあるが、この1年間（令和2（2020）年5月1日～令和3（2021）年4月30日）に何らかの

「生涯学習」を行ったか」との問いに対し、総回答数のうち「した」と回答した人は、56.4%で、前回調査時と比べ4.6%上昇しています。また、「しなかった」と回答した人は、41.3%と前回調査と比べ5.7%減少しています。

前回調査時と比べ、生涯学習を「した」と回答した割合が増え、「しなかった」と回答した割合が減ったことから、生涯学習についての関心が高くなったと考えます。

今後も生涯学習への意欲や関心を損なわないように生涯学習情報の提供方法などの工夫をして、継続した提供が必要です。

- ウ 今後の生涯学習の実施に関する意向についての問いに、総回答数のうち「学習を新たに始めたり、続けたりする気持ちがある」が57.6%、「学習したいが、いろいろな事情で、できないと思う」が17.7%、「学習する必要性を特に感じないから、しないと思う」が13.4%という結果となっています。

回答結果から市民の学習することへの意欲が高いことから、今後も市民のニーズに合った学習内容や学習機会の提供が必要です。

- エ 学習に参加したことにより、得られた成果を地域社会での活動に活かす機会があったかの問いには、「活かすことができた」と回答した人が46.6%と前回調査時に対して9.5%減少しています。

このことから、今後は学習相談や開催講座の中で、学習により得られた成果を活かした社会教育団体や地域での活動事例を紹介し、学習の成果を活かせる場づくりが必要です。

- オ 学習方法については、「コミュニティセンター、公民館、図書館などの施設利用」が最も回答割合が高く、「インターネット利用」による学習方法が、次に高くなっています。そのために、コロナ禍の長期化や情報化社会の進展を踏まえ、更にICT*を活用した講座の提供など、新たな講座の在り方を考えて、実施していくことが必要です。

- カ 学習情報の取得方法については、前回調査時の結果と同様に「広報紙の活用」の割合が一番高く、次いで「チラシ、ポスター、パンフレット」、その次が「インターネット」の順でした。

今後は、広報紙の活用以外にもSNS*やメールマガジンなどを活用するなど、工夫した学習情報の提供が必要です。

2 第三次柏崎市生涯学習推進計画における

事業の推進状況を踏まえた課題

- (1) 第三次生涯学習推進計画では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したものを除くと、各課の評価は、「期待した成果があった」「ほぼ期待どおりの成果があった」が多くなっています。また、市民ニーズ調査の結果による「何らかの生涯学習を行ったか」の問いでは、半数以上の市民が「した」と回答しており、今後も市民ニーズに合った学習機会の提供が必要です。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、各種事業が中止となり、令和2（2020）年度後半からの公民館講座では、受講生を2分の1に制限し、同じ講座を2回に分けて実施することや、インターネットを利用した講座の実施、市ホームページ上で市展を開催するなど工夫した学習機会を提供しました。
今後も、コロナ禍の状況が続くことが想定されるため、講座やイベントの実施方法や内容について、検討、工夫をして学習機会を提供する必要があります。
- (3) 個別の事案で見ると、令和2（2020）年度の公民館講座の中で、受講者の年齢枠のない「エイジレスコース」の受講者の約半数がリピーターで占められ、残りが新規参加者とマンネリ化までに至っていません。参加申込者のうち、男性は、全体の8.2%と低く、参加者の年齢層も高い状況となっています。
また、おおむね60歳以上を対象とした「シニアコース」の受講者では、男性の申込み割合は全体の23.6%でしたが、18歳以上を対象とした「市民大学」では58.5%となっています。
あわせて、市民ニーズ調査の回答でも、若い世代からの回答率が低くなっていることから、特に、若い世代の男性に対して、生涯学習への興味を喚起していく必要があります。
- (4) 市の職員が地域に出向いて講師となる「ふれあい講座※（令和3（2021）年4月1日現在講座登録数76講座）」は、年間延べ約80講座の受講申込があります。しかし、一般の人が講師として登録している「生涯学習人材バンク（令和3（2021）年3月末現在、57人登録、81講座）」の利用申込が少ない状況にあります。
今後は、生涯学習人材バンクに登録した人の活用を増やすための工夫が必要です。

3 本計画が取り組む課題（市民ニーズ調査、 第三次柏崎市生涯学習推進計画を踏まえて）

- (1) 市民ニーズ調査の回答状況や講座の参加者の状況から、若い世代の男性の生涯学習への関心が低いことから、望む学習内容や提供方法を検討するほか、市民のニーズに合った学習機会を提供することで、参加者を増やすことが必要です。
- (2) インターネット環境も整ってきていることから、ICT*を活用した学習情報の提供を充実するとともにオンライン講座などを実施することで、「いつでも どこでも」学べる環境づくりが必要です。
- (3) 学習相談や各種講座開催の場で、社会教育団体や地域での学習成果の活用事例を紹介するなど、学習の成果を活かす機会を増やす必要があります。
- (4) 学習のニーズが多様化していることから、人材バンクの登録者を増やしなが
ら、登録分野を充実させ、あわせてその活用を増やすための工夫を検討、実
施する必要があります。

■ 期 間

本計画の期間は、令和4（2022）年度を初年度とし、令和7（2025）年度までとします。

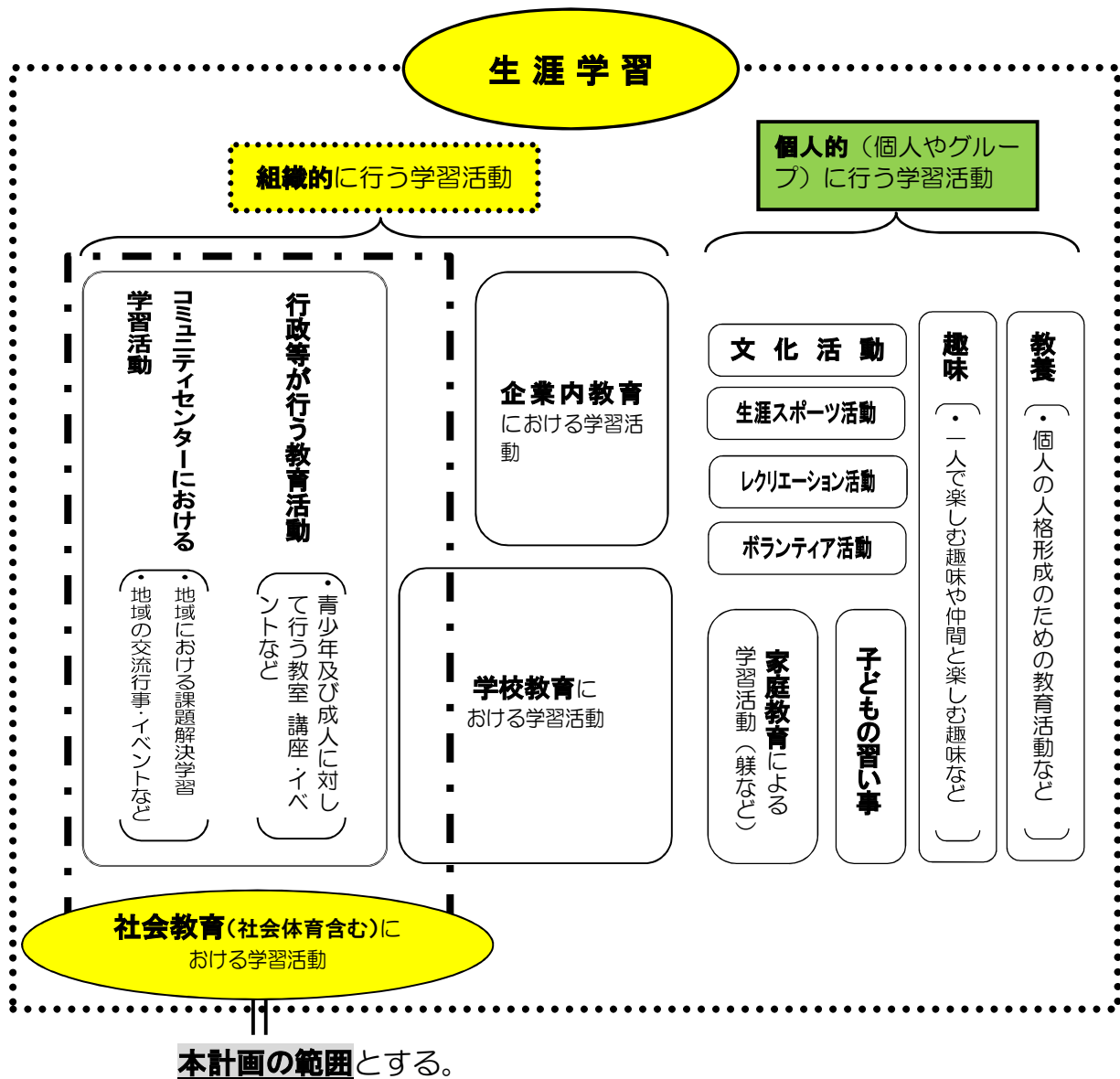
ただし、計画の進捗状況や本市を取り巻く社会情勢の変化、新たな環境課題等を考慮し、具体的な施策や取組について、必要に応じて計画期間内でも見直しを行います。

■ 範 囲

本計画では、生涯学習のうち、「社会教育における学習活動」を対象範囲とします。この中には、地域における課題解決学習や交流イベントなどのコミュニティセンターにおける学習活動、教室・講座・イベントなどの行政等が行う教育活動に加え、学校教育における学習活動（教育課程として行われる教育活動を除く）の一部が含まれます。

なお、行政等が行う教育活動の施策の中心は教育委員会のみならず、様々な行政部局の計画の中にも位置付けられているため、本市が策定した各種部門の行政計画のうち『生涯学習（社会教育）部門』を範囲に含みます。

生涯学習・社会教育と本計画範囲との関係



■ 基本目標

本計画では、第三次柏崎市生涯学習推進計画の基本目標を継承し、柏崎市第五次総合計画基本構想・後期基本計画、柏崎市教育大綱に沿った施策を展開します。

生涯学習推進基本目標

学ぶ喜びを 未来につなげる
ひとづくり・まちづくり

■ 重点目標

生涯学習推進のための基本目標を達成するために、次の4つの重点目標を設定し、施策や事業を計画・実施します。

◇重点目標1：みんなが学び、成長する ひとづくり・まちづくり

いつでも、どこでも、自ら学ぶことができるよう、学習機会を提供します。

また、全ての市民が学習を通して、学ぶ喜びを感じ、生きがいづくりにつながるよう、ICT※を活用し、学習内容の充実を図ります。さらに、学ぶきっかけづくりのための学習相談体制を充実することで、生涯においてみんなで学び、学ぶ喜びをもち成長していけるひとづくり・まちづくりを進めます。

◇重点目標2：ともに学び、教え合う ひとづくり・まちづくり

学んだ成果を、地域の課題解決や健康増進、趣味の活動などに活かせる環境を整え、学習活動の充実を図り、生きがいづくりにつなげます。

また、学習の成果を個人の財産にとどめず、地域学習や学校支援のボランティア活動などに活かせる知の循環型社会の構築に向け、ともに学び、教え合うことのできるひとづくり・まちづくりを進めます。

◇重点目標 3 : 地域を学び、地域の未来につなげる ひとづくり・まちづくり

地域の様々な資源を学習題材として活用し、地域の魅力を学び、その成果を活用した交流活動が展開され、地域の未来につながるような学習機会を提供します。

さらに、地域の魅力を活用した国際交流活動が進められるような学習機会を提供し、国際感覚を身に付け、市内に居住する外国人や友好交流都市との交流等を進め、多文化共生※社会の実現を推進します。

また、市民が行う文化活動への支援を行い、文化芸術に親しむことができる機会を提供します。

地域資源に親しみ・学ぶことで、ふるさと柏崎に誇りと愛着をもち、未来につなげるひとづくり・まちづくりを進めます。

◇重点目標 4 : スポーツを楽しみながら次世代につなげる ひとづくり・まちづくり

市民が、それぞれのライフステージやニーズに応じたスポーツを楽しみながら、運動習慣を身に付けられるように、地域や関係団体と連携して活動環境や支援体制を整え、元気で充実した生活が送れるように取り組みます。

また、スポーツレクリエーション行事やスポーツを通じた交流の促進、学校施設・コミュニティセンター施設の活用促進、スポーツ施設の充実を図ります。

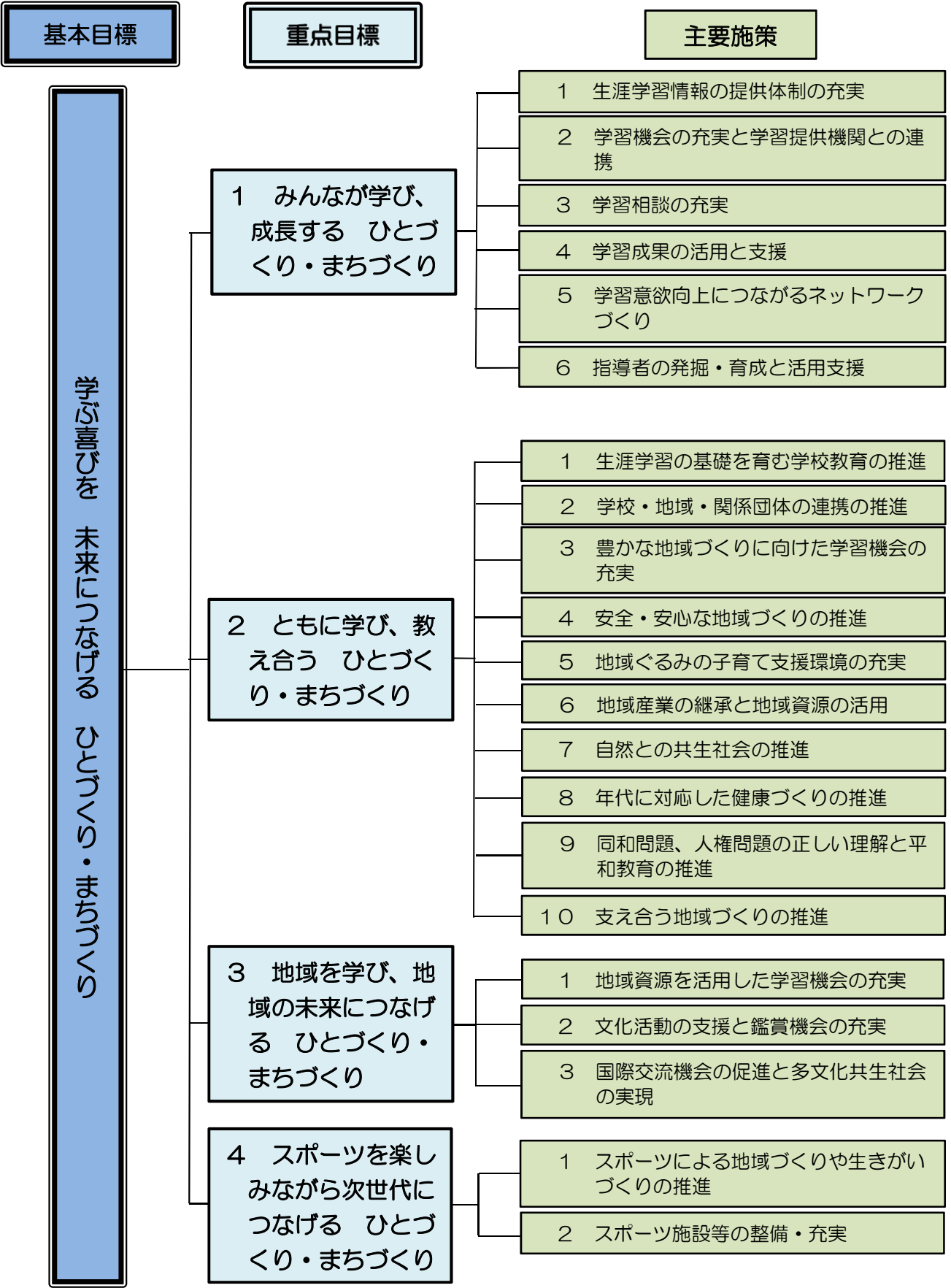
生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しみながら次世代につなげるひとづくり・まちづくりを進めます。



〔〇〇〇〇〇〇〕

〇〇〇〇〇〇〇〇〇

■ 推進の体系



各主要施策には、施策の展開により、下記のSDGsの17のゴールのうち目標達成に資するものを表示しています。

持続可能な開発目標 (SDGs)



平成27(2015)年に、国連本部において全会一致で採択された、令和12(2030)年までに実現しようとする国際社会共通の目標です。具体的な開発目標として17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」を誓っています。SDGsは、発展途上国のみならず、先進国でも取り組む普遍的なものであり、日本においても積極的に取り組んでいます。また柏崎市においても、開発目標の達成に向けた取組を進めています。

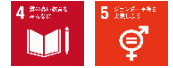
 国連開発計画(UNDP)が掲げる17の持続可能な開発目標(SDGs)			
	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		各国内および各国間の不平等を是正する
	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する		包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		持続可能な生産消費形態を確保する
	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する		気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う		持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する		陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する
	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する		持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する		持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
	強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る		

□ 重点目標別計画の内容（主要施策）

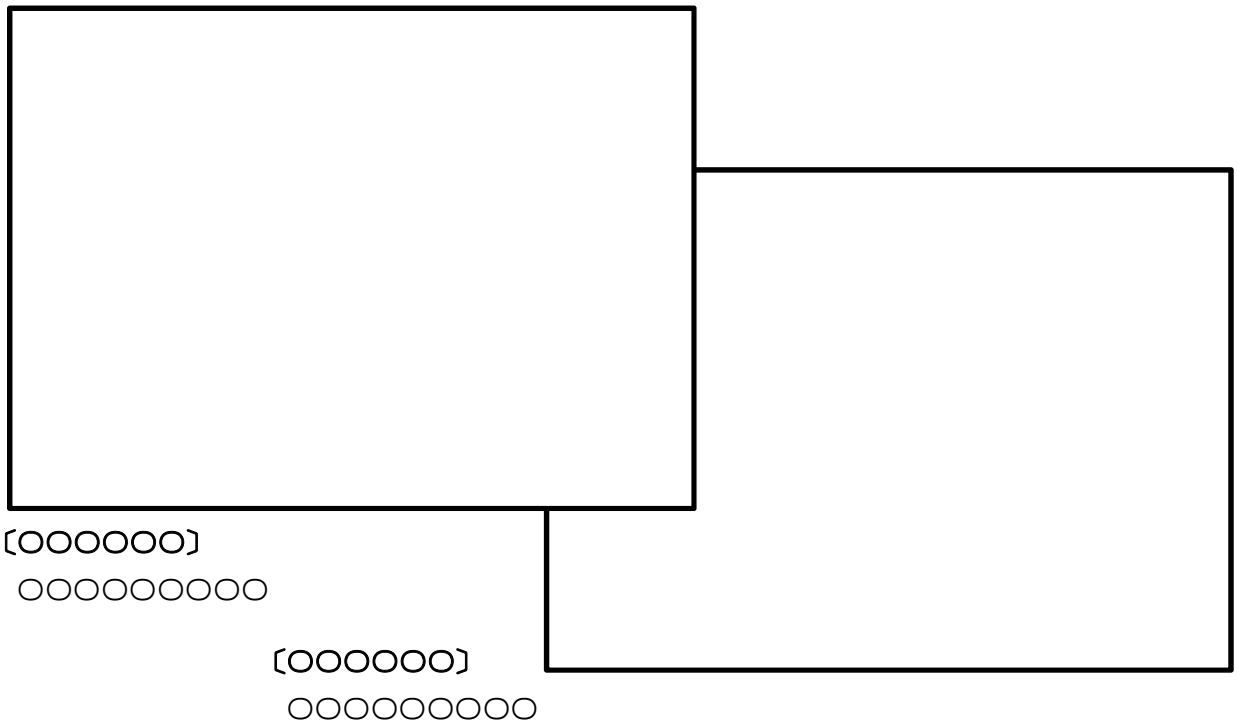
◇重点目標 1：みんなが学び、成長する ひとづくり・まちづくり

○主要施策 1-1 生涯学習情報の提供体制の充実

【現況と課題】



- 生涯学習の推進を図るには、いつでも、どこでも、誰でもが学習できる機会を提供することが必要です。
- 市民一人一人のライフスタイルや生涯学習ニーズが多様化している中で、それぞれに合った学習方法や学習機会を提供することが求められており、そのために、誰でもが容易に学習機会の情報を得ることができるようになることが望まれています。
- 生涯学習情報の一元化を推進し、提供情報の質・見やすさなどを追求するとともに、本市の学習情報だけでなく、県や他市町村・民間団体などの学習情報も収集・整理し、広く提供することが必要です。
- 生涯学習に関する市民ニーズ調査では、情報を「行政広報誌」のほか、「市ホームページ」や SNS*などのインターネットを活用した方法で提供を望む市民の声が多いことから、提供方法の工夫が必要です。



【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
生涯学習の啓発・推進	生涯学習の推進に向けて関係者が高い意識を持ち、啓発・推進を図り、普及に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の推進に向けた関係者の意識の醸成 ○生涯学習情報の共有化の推進 	文化・生涯学習課
生涯学習情報の提供	生涯学習情報を収集・整理し、情報提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報の収集及び分類整理 ○行政職員を派遣する出前形式の生涯学習ふれあい講座[※]一覧表の作成、配布 ○生涯学習情報一覧表の作成、配布（広報かしわざきに掲載） ○関係各課・機関との連携 ○公民館講座の動画配信 ○新潟県生涯学習情報提供システム『ラ・ラ・ネット』[※]への情報提供 	文化・生涯学習課 文化・生涯学習課（県立生涯学習推進センター）
生涯学習情報の提供方法の工夫	市民が必要としている学習情報について、いつでも、どこでも手にすることができる情報提供方法の工夫に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○広報かしわざきの活用 ○市ホームページの活用 ○SNS[※]の活用 ○公共施設及び地域コミュニティセンター等の活用 ○報道機関との連携 ○いきいき県民カレッジ[※]講座一覧の配布 ○新潟県生涯学習情報提供システム『ラ・ラ・ネット』[※]を活用した情報の提供 	学習情報提供の各課 文化・生涯学習課（県立生涯学習推進センター）



<http://www.lalanet.gr.jp/>

ラ・ラ・ネット(新潟県生涯学習情報提供システム)は、県民の主体的な学習活動を支援することを目的とし、インターネットを通じて広く県内の生涯学習に関する情報を提供するものです。

- ・ つながる 生涯学習団体・サークルのPR！
- ・ まなぶ 生涯学習情報をご案内！
- ・ しらべる 生涯学習情報の検索が簡単！

○主要施策 1-2 学習機会の充実と学習提供機関との連携

【現況と課題】



- 市民の学習機会は、柏崎公民館※事業やかしわざき市民大学※開設事業のほか、図書館・博物館・公共体育施設などの社会教育施設においても提供されています。また、市内2大学との連携による講座や大学単独の公開講座なども提供されています。しかし、コロナ禍の状況からインターネットを活用したオンライン形式での学習機会の提供希望も増えています。
- 市民に最も身近な地域のコミュニティセンターや母子保健事業、教育・保育の場においても、学習のきっかけづくりや仲間づくり、生きがいづくりなどを主目的とした数多くの講座が実施されています。しかし、生涯学習の活動分野は幅広い上に、学習の場所や時間、内容についての要望も多様化してきています。
- 学習ニーズの多様化に対応していくため、各学習提供機関との連携を強化するとともに、様々な機関や組織とのネットワークの構築による学習内容の充実を図り、提供することが重要です。

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体		
ライフサイクルに 適応した学習 内容の充実と 提供	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期 ・少年期 ・青年期 ・成人期 ・高齢期 の5つのライフサイクルにおいて取り組む課題や学習ニーズをとらえ、学習内容の充実、提供に努めます。	乳幼児期	○絵本の読み聞かせの推進	図書館	
			○絵本関連イベントの開催	保育課	
			○自然体験活動の推進 ○食育体験活動の推進及び保護者への食育情報の提供 ○歯科保健健康教育の推進	保育課	
				○B P (ベビープログラム) 講座※の実施	文化・生涯学習課
		少年期	○子ども向けコースの実施	文化・生涯学習課 図書館	
			○こどもフェスタの開催		
			○子ども会スポーツ大会の充実		
○なぎさ体験塾※の開設(東村山市等と共催)					
○読書イベント・講座の開催					
		○科学のえんま市の実施	学校教育課 (教育センター)		
		○夢の森公園団体体験プログラムの提供	柏崎・夢の森公園		
		○こども自然王国団体体験プログラムの提供	県立こども自然王国		

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体	
ライフサイクルに 適応した学習内容の 充実と提供	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期 ・少年期 ・青年期 ・成人期 ・高齢期 の5つのライフサイクルにおいて取り組む課題や学習ニーズをとらえ、学習内容の充実、提供に努めます。	青年期	○エイジレスコース*の充実	文化・生涯学習課
		成人期	○地域で育む子ども育成事業の充実 ○かしわざき市民大学*の充実 ○エイジレスコース*の充実 ○ふれあい講座の充実 ○生涯学習地域人材バンクの充実	文化・生涯学習課
			○市内2大学との連携による公開講座の充実	文化・生涯学習課 (新潟産業大学・新潟工科大学)
			○絵本の読み聞かせ講座及び読書講演会の開催	図書館
		○就学時検診等を活用した子育て関係資料の配布及び活用	学校教育課	
高齢期	○シニアコース*の充実 ○エイジレスコース*の充実 ○団塊世代を対象としたコーディネート養成講座の充実	文化・生涯学習課		
博物館運営の 充実	新たな入館者を開拓するとともに、多くの地元収蔵品の整理及びデータベース化を進め、収蔵品を活用した学習機会を拡充します。	○収蔵品を活用した特別展・企画展の充実 ○プラネタリウムでのイベント実施 ○出前講座の拡充	博物館	
図書館運営の 充実	図書館資料の充実を図るとともに、郷土資料のデジタル化や長期保存のための表具などを行い、資料の活用と保存を両立させて多様な情報提供に努めます。	○図書の貸出し及び閲覧サービスの充実 ○視聴覚資料、郷土資料などの貸出し及び閲覧サービスの充実 ○生涯学習関連イベントの充実 ○移動図書館・貸出文庫の実施 ○郷土のデジタル資料の閲覧、活用に向けた整備 ○収蔵品を活用した企画展の充実 ○レファレンスサービス(参考調査業務)の充実 ○学校への出前講座の拡充	図書館	
コミュニティ センターにお ける学習機 会の充実	地域に合った生涯学習活動の促進に向けた学習機会の充実・提供やイベントなどへの支援を行います。	○生涯学習関係講座などの充実・提供	文化・生涯学習課 市民活動支援課 (各コミュニティセンター)	

○主要施策 1-3 学習相談の充実



【現況と課題】

- 何かを学びたいと思ったときに、気軽に学習相談のできる窓口体制づくりが必要です。特に、子育てに忙しい世代や若者が相談しやすい相談体制を作ることが重要です。
- 学習に対する希望や悩みを聴き取り、希望する学習ニーズに対して、的確な学習情報を提供し、助言することは、学習を始めるための大きな推進力になります。
- 本市では、各課・各施設の窓口において、担当職員のほか専門のカウンセラーなどを配置し、学習相談に対応しています。
しかし、市民の学習ニーズの多様化・高度化・特殊化に伴い、必要とする学習情報を得るための学習支援や機会をコーディネートするなど、学習相談に柔軟に対応できる支援体制の充実が求められています。



{○○○○○○}

○○○○○○○○○○

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
各種学習相談への対応	学習に関する情報提供と同時に、多様な学習ニーズの相談に対応できる窓口体制の充実を図ります。	○学習相談窓口体制の充実	文化・生涯学習課 市民活動支援課 (各コミュニティセンター)
		○ふれあい講座*(出前講座)メニューの充実及び利用団体と実施担当課との連絡・調整	文化・生涯学習課
		○ワークサポート柏崎*(若者職業相談コーナー)における個別相談の充実 ○若者就職支援セミナーの実施 ○各種就職支援プログラムの実施	商業観光課
		○地域資源を活用した技能訓練などの斡旋	商業観光課 (ワークサポート柏崎*・ハローワーク・テクノスクールなど)
		○調査研究に必要な資料提供及び相談受付	図書館

○主要施策1-4 学習成果の活用と支援



【現況と課題】

- 生涯学習を推進するためには、自由に学習機会を選択して学ぶことができる環境の整備や学習した成果が適切に評価されることが重要です。このことは、市民が生きがいを持って、豊かに生活できる社会の実現につながります。しかし、学習した成果を適切に評価や認定をすることは容易ではなく、現状は講座修了証などの発行にとどまっています。
- 県では、各市町村・大学などが実施する講座を登録した『いきいき県民力レシジ*講座』を開講し、一定の単位を修得すると、単位数により各奨励賞が交付される制度があり、受講者にとって学習の励みにつながっています。
- 学習成果を活かし、地域や小・中学校、保育園、高齢者施設などにおいて様々なボランティア活動に取り組むことは、学習者にとって更なる学習意欲の向上につながります。
- 学習者同士の関係をより一層深めるため、また、次の学習機会につながる情報提供としても学習成果の発表や活用する機会・場所を拡充し、提供することが重要です。

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
学習成果の発表の場の充実	日々の学習成果を発表する場の充実に努め、発表者自身の学習意欲を高めます。 また、コミュニティまつりなど、地域住民が集まり、交流する場や学習成果の発表の場づくりを充実します。	○マナビィステージ in かしわざき(ステージ発表・作品展示発表会)の開催支援	文化・生涯学習課 (マナビィステージ実行委員会)
		○柏崎公民館*の利用団体作品展示会開催の支援	文化・生涯学習課
		○書画・写真など社会教育団体の展示会支援	文化・生涯学習課 図書館
		○コミュニティまつりなど発表の場づくり ○コミュニティセンター活動報告の場づくり	市民活動支援課 (各コミュニティセンター) 文化・生涯学習課
学習成果の活用場と機会づくり	『生涯学習地域人材バンク』の充実に図り、学習成果の活用場と機会づくりに努めます。	○『生涯学習地域人材バンク*』への登録奨励 ○『生涯学習地域人材バンク*』のPRと人材活用の促進	文化・生涯学習課

○主要施策 1-5 学習意欲の向上につながる

ネットワークづくり

【現況と課題】

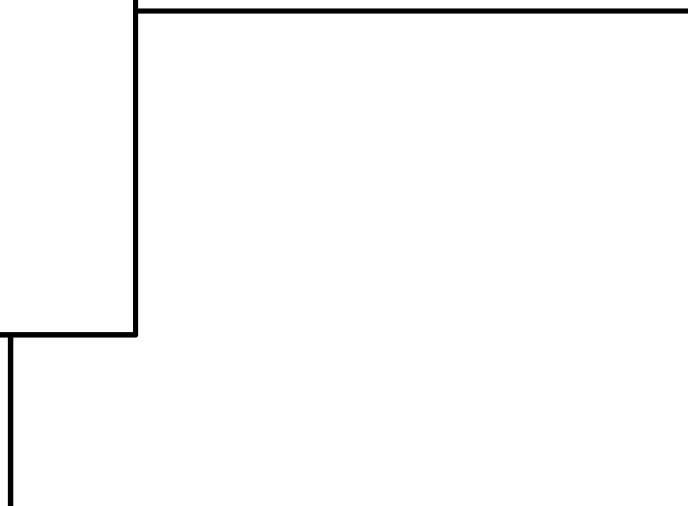


- 学習は、個人が学びたいときに学ぶことが基本ですが、学習者が団体やサークルで活動することも、学習意欲を高め、活動の継続につながります。
- 多くの市民が様々な社会教育団体やサークルに所属し、生きがいと仲間づくりを目的に活発な生涯学習活動が展開されるように支援していくことが重要です。
柏崎公民館*などでは各種講座・教室を開催し、受講終了後も学習の継続につながるように、既存の社会教育団体・サークルの紹介や受講者同士の新たな社会教育団体・サークルの結成を促進しています。
- 社会教育団体やサークルに、情報交換や交流する場を提供することで、活動の輪が広がり、お互いの資質を高め、つながりを持ちながら地域社会での課題解決に向けた活動へと発展していくことが望まれます。
- 学習活動を活発にするために、市内の社会教育団体・サークルの活動内容や目的等を市民に情報提供する必要があります。より多くの市民に学習活動の情報を提供し、参加を促すとともに、学習者や社会教育団体・サークルなどのネットワークづくりの支援にもつなげていきます。



〔〇〇〇〇〇〇〕

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



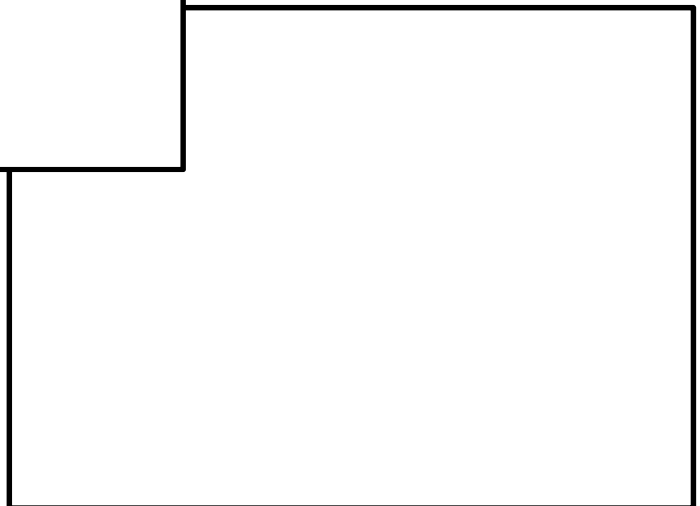
〔〇〇〇〇〇〇〕

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



〔○○○○○○〕

○○○○○○○○○○



〔○○○○○○〕

○○○○○○○○○○

【主な施策】

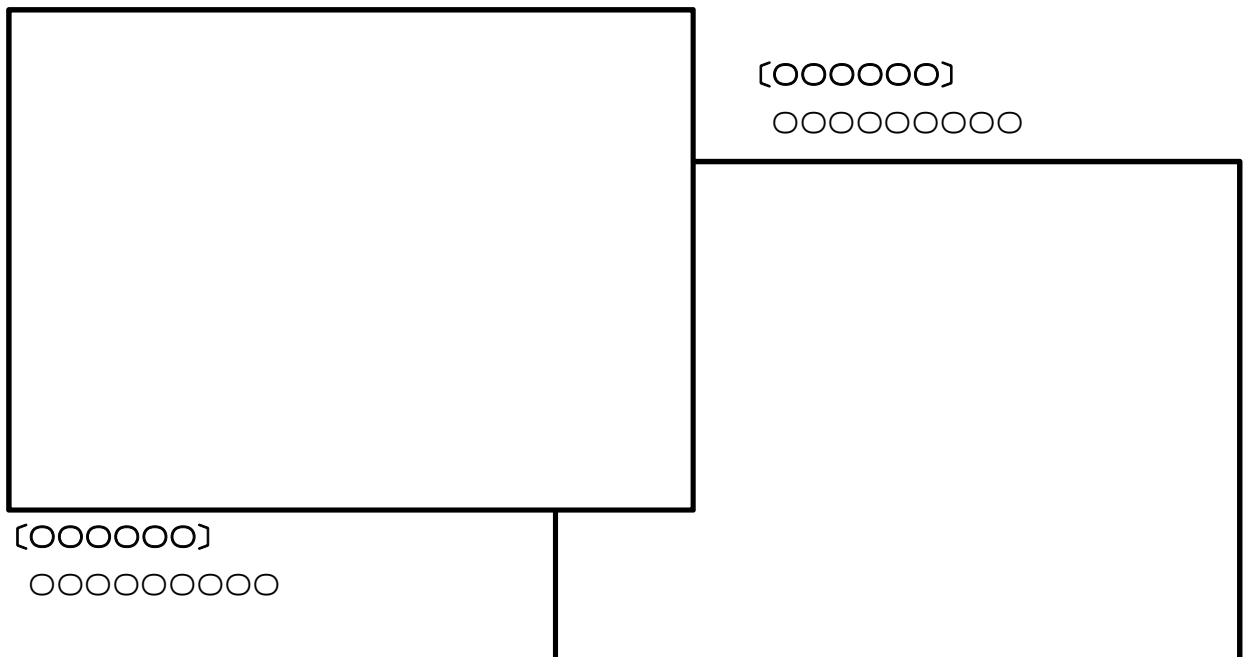
施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
講座受講修了者への学習継続支援	講座・教室修了後の受講者に関係サークル等の紹介や受講者同士の自主サークル結成を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ○講座受講修了者同士の自主サークルの結成を支援 ○受講内容と関連するサークル等の紹介 ○講座受講修了者交流会の開催 	文化・生涯学習課
社会教育団体・サークルへの活動支援	社会教育団体やサークルが学習活動を自主的に継続できるように、その活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育団体一覧の市ホームページ掲載及び配布 ○社会教育団体の活動促進（柏崎市市民プラザ使用料減免） ○学習相談時の関係活動団体の紹介 	文化・生涯学習課
		<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習関係補助事業（コミュニティ活動）の実施 	市民活動支援課 文化・生涯学習課
社会教育団体・サークルの交流・ネットワーク化	社会教育団体や学習サークル同士が交流する場を提供するなど、連携による活動の活性化を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ○マナビィステージ in かしわざき（ステージ発表、作品展示発表）の企画・開催 	文化・生涯学習課 （マナビィステージ実行委員会）
		<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育団体・サークルの交流の場（交流会）の提供 	文化・生涯学習課

○主要施策 1-6 指導者の発掘・育成と活用支援

【現況と課題】



- 市民の学習ニーズが多様化しています。また、学校教育における地域人材の活用などのニーズも高まる中で、様々な分野での指導者やボランティアを求める声が大きくなっています。一方で、地域の歴史や自然を熟知する人材、地場産業の技術者、伝統文化の継承者のほか、サークルや講座などで得た技術や知識を地域に還元したいと考えている人材が、地域には存在します。
- 様々な人材が持つ知識や技術、学習の成果を他の人々の学習に役立て、地域の活性化などの社会貢献ができれば、更に自分の励みや生きがいにつながります。そこで、生涯学習活動の充実や広がりを図るためには、学習したい人と教えたい・伝えたい人を結び付けることが必要となります。
- 地域の中から指導者となり得る人材を発掘するとともに、講座の講師などの人材情報の集約と整理を行い、活用できる仕組みを構築する必要があります。
- 地域に根ざし、活躍されている人材の情報を『生涯学習地域人材バンク[※]（冊子）』にまとめ、公営施設等に送付・配置していますが、活用事例が少ない状況にあります。
- 現状では、人材バンクへの新規登録者は少なく、活用事例も少ないことから『人材の育成』について、地域コミュニティや企業、団体などと協働して、地域の人材の発掘や人材バンクへの新規登録者数の増加とその活用に向けた情報の提供を積極的に行うことが重要です。



【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
指導者の発掘・育成	優れた専門知識・技術や公的資格を有する人材、また地域の名人と言われる人材などを発掘・育成し、指導者としての活動機会を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者の発掘の推進 ○各コミュニティセンターなどとの連携による指導者の発掘・育成 ○各コミュニティセンターの講座等の指導者としての活用 	文化・生涯学習課 市民活動支援課 (各コミュニティセンター)
人材バンクの充実	人材バンクの登録者を増やし、また登録分野も増やすことにより、人材バンクの充実を図ります。	○生涯学習地域人材バンク [※] の充実	文化・生涯学習課
人材バンクのPRと活用の促進	生涯学習地域人材バンクの周知と活用に向け、市広報紙や市ホームページで積極的にPR、促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習地域人材バンク[※]情報の提供（小・中学校やコミュニティセンター、行政関係部署など）と活用に向けたPR ○社会教育団体などからの講師派遣 ○公民館講座、生涯学習ふれあい講座[※]を通じた人材バンク情報の提供 	文化・生涯学習課
関係者の連携の促進	ジャンルの異なる指導者同士の連携を図る体制を構築し、新たな学習活動や交流を促進します。	○関係者連絡ネットワークの構築	文化・生涯学習課

◇重点目標 2 : とともに学び、教え合う ひとづくり・まちづくり

○主要施策 2-1 生涯学習の基礎を育む学校教育の推進

【現況と課題】

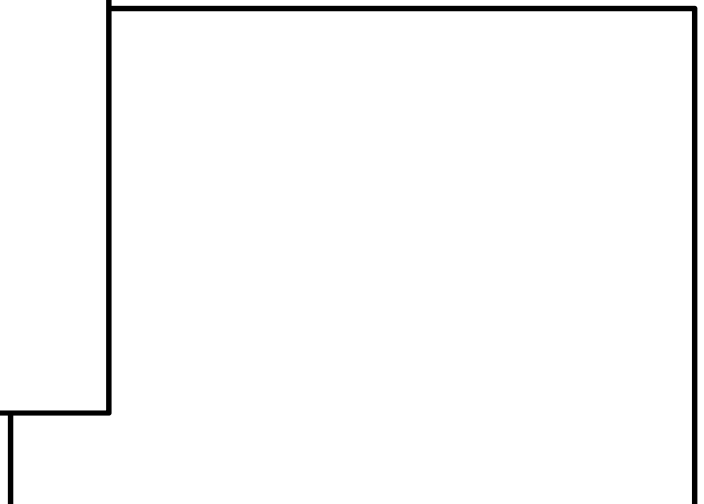


- 子どもたちの生涯学習の基礎を育むため、学校・家庭・地域が連携・協力し、学びの習慣づくりや様々な体験活動を通して基本的な生活習慣を身に付ける事業を展開しています。
- 少子化の急速な進行や、人間関係の希薄化、電子メディアへの過度の依存、自然とふれ合う機会の減少などから、子どもたちの思いやりの心やコミュニケーション能力の低下等心身の発達への影響が懸念されます。このため、思いやりの心、美しいものへの感動の心、道徳心など豊かな心を育くみ、望ましい人間関係を築く力を身に付けるために、学校・家庭・地域が連携して協力していくことが求められています。
- 地域の伝統行事や、郷土料理づくりなど地域と小・中学校が連携した活動や地域の特性を取り込んだ学習活動など、様々な教育を行っています。子どもたちの豊かな心、健やかな体を育むため、地域の特色を活かし、関係機関が連携した「いつでも、どこでも、誰でもが学ぶ」という生涯学習の基礎を育む学校教育の推進を図ることが必要です。



{○○○○○○}

○○○○○○○○○○



{○○○○○○}

○○○○○○○○○○

【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進	学校・家庭・地域などの関係機関が連携し、体験活動や芸術文化に触れる機会などを充実して、豊かな心、健やかな体を育む活動を推進します。 また、基本的な生活習慣の確立のための取組を行います。	○あいさつや声かけの推進	学校教育課 文化・生涯学習課 保育課
		○図書館での読み聞かせ事業の推進 ○移動図書館・貸出文庫事業の推進 ○学校読書支援員*の配置による学校読書活動の支援 ○家庭読書・家族読書(家読)の推進	図書館
		○家庭学習の習慣化を図る取組の推進	学校教育課
		○芸術・文化活動の推進	学校教育課 文化・生涯学習課
		○生活・社会体験活動の推進	学校教育課 文化・生涯学習課
		○自然に触れ、自然から学ぶ事業の推進	学校教育課 文化・生涯学習課 博物館 柏崎・夢の森公園
		○遊び場をつくり、交流の場をつくる事業の推進	学校教育課 文化・生涯学習課 子育て支援課 博物館 柏崎・夢の森公園
		○花いっぱい、緑いっぱいの事業の推進	学校教育課 文化・生涯学習課
		○食の大切さを子どもに意識付ける活動の推進 ○「早寝・早起き・朝ごはん運動」の推進	学校教育課

○主要施策 2-2 学校・地域・関係団体の連携の推進

【現況と課題】



- 地域に誇りと愛着を持つ子どもを育てるため、学校・地域・関係機関が連携し、地域資源から学ぶ学習を進めています。引き続き、柏崎のあらゆることについて、その魅力を知り、更に良さを感じ、自分自身が柏崎とどのように関わり発展させていくかを考える学習に取り組んでいくことが必要です。
- 子どもたちを取り巻く様々な課題に対応するため、学校・家庭・地域が連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てることが重要であり、様々な形で学校・家庭・地域が協働していくことが必要です。
- コミュニケーションツールの多様化から、子どもたちが陥りやすいモラルの低下を食い止めるための教育の充実を図り、子どもたちの健全育成の支援を推進することが重要です。
- 子どもたちが、働くことの大切さや意義を学ぶため、企業・地域・行政が連携して、キャリア教育*に引き続き取り組むことが必要です。

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
関係機関・団体が連携した教育活動の推進	地域学校協働活動本部や教育機関、社会教育施設が連携を図り、キャリア教育や教育活動を推進し、将来の柏崎を担う人材の育成を進めます。	○学習の支援ボランティアや教育環境の整備 ○ <u>地域学校協働活動事業*</u> の推進	学校教育課 文化・生涯学習課
		○ <u>キャリア教育*</u> 推進事業の実施 ○ <u>キャリア教育*</u> の推進	学校教育課 商業観光課
		○放課後子ども教室の充実	子育て支援課
		○学校・家庭・地域の連携促進事業の推進 ○PTA活動の支援	文化・生涯学習課
		○子どもの生活安全ネットワークによる不審者などの情報収集と提供 ○地域が一体となった見守り活動の推進	学校教育課 市民活動支援課
青少年健全育成活動の支援	学校・家庭・地域が連携した青少年健全育成活動を充実するため、育成団体などとの連携と支援に努めます。	○青少年健全育成市民会議、市PTA連絡協議会への活動支援	文化・生涯学習課
		○新潟県少年の主張大会開催への協力支援	学校教育課
		○子ども会への支援	文化・生涯学習課

○主要施策 2-3 豊かな地域づくりに向けた学習機会の充実

【現況と課題】



- 町内会やコミュニティセンター、市民活動団体などが地域活動に主体的に関わっています。しかし、地域コミュニティ活動に対する満足度は、高齢者層で高く、若年層で低くなっています。
- 環境問題や高齢者福祉、子育て、教育、防犯、防災などの課題が多様化し、地縁に基づいた安全・安心で健康に過ごせる豊かな地域社会が求められています。
そのため、住民自らが学習した知識や技術、地域の人材を活用して、地域課題を解決することが、今後の地域活性化に必要となり、地域における生涯学習やコミュニティ活動の更なる推進と学習機会の充実が重要です。
- 人口減少、少子高齢化により個々の家庭では解決できない課題についても、地域コミュニティを核とした地域づくりを通して解決する必要があります。
また、市民と各種団体が協働し、生涯学習によるまちづくりを進めるため、市民活動団体などの活動内容を広く情報提供し、市民の公益活動に対する理解や気運を高めるとともに、豊かな地域づくりのための人材育成を進めることが重要です。



〔○○○○○○〕

○○○○○○○○○○

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
コミュニティ活動の推進	地域の多様な課題に対して、地域住民が連携し、課題解決に自発的に取り組むことができるように支援します。 知の循環型社会形成のため、地域人材の発掘・育成及び活用を進めます。	○コミュニティ活動への支援 ○市民活動団体への活動支援 ○地域人材の発掘・育成・活用 ○コミュニティセンター職員のスキルアップ研修*の実施	市民活動支援課 文化・生涯学習課

○主要施策 2-4 安全・安心な地域づくりの推進

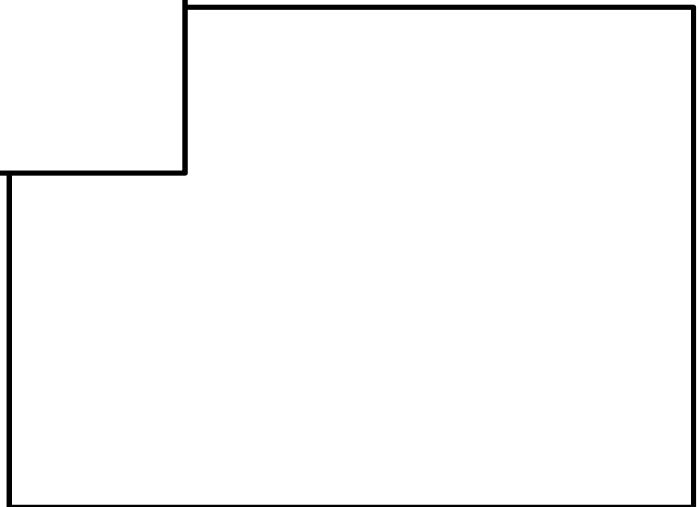
【現況と課題】



- 東日本大震災では、今までにない大きな被害が発生しました。柏崎市でも中越地震、中越沖地震と大きな被害を受けています。
自然災害に強いまちづくりを目指し、市の防災体制の確立と地域の自主防災力の充実を図ります。また、緊急時に迅速、かつ、的確に対処するため、様々な危機を想定した平常時からの準備や自主防災組織、小・中学校などと連携した安全・安心な地域づくりを進める必要があります。また、防災士の養成や関係団体と連携した学習機会の充実が必要です。
- 東日本大震災における福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、市民の安全・安心を確保するための「防災計画」、「避難計画」を充実させるとともに、ふれあい講座*などを通して、原子力に関わる正しい知識や情報を提供する学習機会の更なる充実が必要です。
- 安全で安心して暮らすために、日常生活の身近なところで起こる様々な犯罪や交通事故、消費生活トラブル、火災、公害などから市民を守るために、関係団体と連携した学習機会を更に充実させる必要があります。



〔○○○○○○〕
○○○○○○○○○○



〔○○○○○○〕
○○○○○○○○○○

【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
防災や生活に身近な安全の確保に関する学習機会の充実	<p>防災に関する知識の習得とともに、防災訓練などにより危険に対する対処方法などを学ぶ機会を提供します。</p> <p>また、犯罪の発生状況などの情報を提供するなど、防犯意識を高める学習機会を提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織・消防団などによる地区防災会議の実施 ○自主防災組織の育成強化・防災訓練・防災活動の支援 ○防災士*の計画的な養成 ○小・中学校への出前講座の実施 ○防災リーダー*育成に関する研修会の実施 	市民活動支援課 防災・原子力課
		<ul style="list-style-type: none"> ○消防団員の確保・教育 ○「くらしの防火セミナー」の開催 	消防本部消防総務課
		<ul style="list-style-type: none"> ○地域安全対策に向けた広報啓発活動の実施 ○地域防犯リーダー*の育成 	市民活動支援課
防災や生活に身近な安全の確保に関する連携と意識の共有	<p>災害発生時に、地域住民による防災・救助活動を行うことができるよう、自主防災組織の活性化や小・中学校との連携に努めます。</p> <p>また、犯罪の抑止力の向上など、意識の共有化を推進します。</p>	○自主防災組織及び消防団と連携した防災意識の向上の推進	市民活動支援課
		○小・中学校と地域とが連携した防災訓練実施の検討	学校教育課
		○消防団と自主防災組織の連携	消防本部消防総務課
		○防犯まちづくりの啓発 ○防犯教育の実施	市民活動支援課
交通安全教育の推進	<p>運転者や自転車利用者、歩行者に交通違反やマナー違反を防止するための交通安全教育を充実します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全講習の実施 ○自転車安全運転教育の実施 ○トキちゃんクラブ*歩行指導教室の実施 	市民活動支援課
安全な消費生活をするための消費者教育の推進	<p>消費者自らの知識や判断力を高めるための消費者教育を推進します。</p> <p>特に、高齢者に対する効果的な注意喚起に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な消費生活の広報啓発 ○消費生活センターによる出前講座の実施 ○消費生活講演会の開催 	市民活動支援課 (消費生活センター)

○主要施策 2-5 地域ぐるみの子育て支援環境の充実

【現況と課題】



- 子育ての不安感や負担感を軽減するため、元気館を始め、保育園や幼稚園に子育て支援室を設置し、子育て講座の実施や子育て相談を行っています。今後も、地域の子育て支援室を始め、地域における子育て支援環境の更なる充実が求められています。
- 地域にある子育て支援室の周知や利用促進のために、地域のコミュニティセンターや子育て支援団体との連携強化も課題となっています。
また、コミュニティセンターなどにおいても、親子が気軽に参加できる魅力ある学習環境を充実する必要があります。
- 家庭が果たすべき役割を見つめ直し、子育ての原点である家庭における教育力の向上を図るために、地域ぐるみによる子育て支援の仕組みづくりが重要な課題となっています。
- 高齢者の持つ経験や地域の人材を活用した子育て学習の機会を充実して、地域ぐるみで子育てを支援していく必要があります。

〔〇〇〇〇〇〇〕
〇〇〇〇〇〇〇〇

〔〇〇〇〇〇〇〕
〇〇〇〇〇〇〇〇

【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
親子が触れ合う場の提供	親子が参加できる様々な子育て教室を実施し、親子が触れ合う場や親同士・子ども同士が交流する場を提供します。	○出産前の <u>パパママセミナー</u> ※の実施 ○ <u>すくすく広場</u> ※の実施 ○元気館子育て講座（子育てキラキラ講座、親子であ・そ・ぼ！）の実施 ○元気館 <u>ジャングルキッズ</u> ※で行う <u>ワクワクタイム</u> ※等の実施 ○地域で行う親子の子育て支援の場と協働の実施	子育て支援課 保育課
		○コミュニティセンターなどでの子育て講座の拡充 ○多世代交流の推進	市民活動支援課 （各コミュニティセンター）
		○就学時健診等を活用した子育て関係資料の配布	学校教育課
		○子育てを支援する「親子わんだーランド『生き・活き・子育て！』」※や親子のふれあいを深めるための講座の実施	人権啓発・男女共同参画室 （かしわざき男女共同参画推進市民会議）
子育て相談体制の充実	子どもの発達・発育の相談や子育てに関する相談、情報提供、親子の交流の場の提供など、子育て世帯に対する相談体制を充実します。	○子育て世代包括支援センターによる妊娠期から乳幼児期までの子育て総合相談 ○子育ての相談や乳幼児健診から発達・発育の途切れない支援の充実	子育て支援課
		○地域の子育て支援室における子育て相談	子育て支援課 （子育て支援室）
子育て支援体制の拡充	子育て環境の充実を図ります。	○子育て支援室の充実 ○地域の子育て広場等との連携	保育課

○主要施策 2-6 地域産業の継承と地域資源の活用

【現況と課題】



- 経済・社会構造の変化や経営者の高齢化に伴う後継者不足、人口減少の急速化などにより、労働力人口の減少とともに、地域経済の縮小が懸念されます。このため、地域経済の新たな担い手として期待される若者を始めとした、未来の地域産業界に必要な人材の育成に取り組む必要があります。
- 若年労働者に社会人としての自覚と資質を身に付けてもらうことが重要です。そのため就職前の早い段階から地元企業と学校、行政が連携し、実践的な職業体験の機会を増やしていくことが必要です。その後も各段階に応じた学習機会を提供することにより若年労働者の離職を防ぐ必要があります。
- 農業は食料の供給のほか、環境保全など多面的な機能を有しています。しかし、担い手の高齢化や後継者不足が課題であり、後継者育成のための支援が必要です。
- 本市が有する豊かな自然や景観、食などの地域資源や地域イベントなど、多くの観光資源を活かした魅力ある観光地域づくりを進めます。四季に応じた新たな魅力ある観光ルートの開発や特産物の発掘を行い、市内外への情報発信に努めます。また、観光ボランティアガイドを始めとした人材の育成と活用が必要です。

[○○○○○○○]

○○○○○○○○○○

[○○○○○○○]

○○○○○○○○○○

【主な施策】

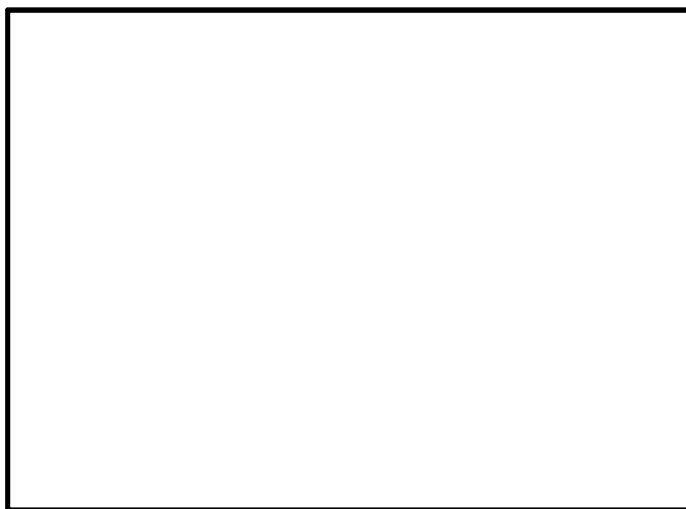
施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
職業体験機会の提供	就職前の早い段階から社会人としての基礎力を身につけ、望ましい勤労観・職業観の醸成を図ります。	○ものづくり体験（ロボット工作）の実施	学校教育課
		○高校生のインターンシップ※事業の推進 ○高校生の実務型職場体験（デュアルシステム※支援事業）による人材育成	ものづくり振興課
技術の承継を図る人材の育成	働きながら、より高い技術・能力を獲得する機会を得ることができるよう、関係機関との連携による就労者の再学習の仕組みづくりを進めます。	○産学連携機能・人材育成の充実 ○ものづくりマイスターカレッジ※の推進	ものづくり振興課 （ものづくり活性化センター） 柏崎商工会議所
		○創業支援事業計画に基づく起業家人材の育成	商業観光課 柏崎商工会議所 金融機関
		○農業の担い手・後継者の育成支援 ○新たな農業就業者の確保に対する補助	農政課
		○地域住民主体の地域資源を活用したイベントやボランティアガイド育成	商業観光課

○主要施策 2-7 自然との共生社会の推進

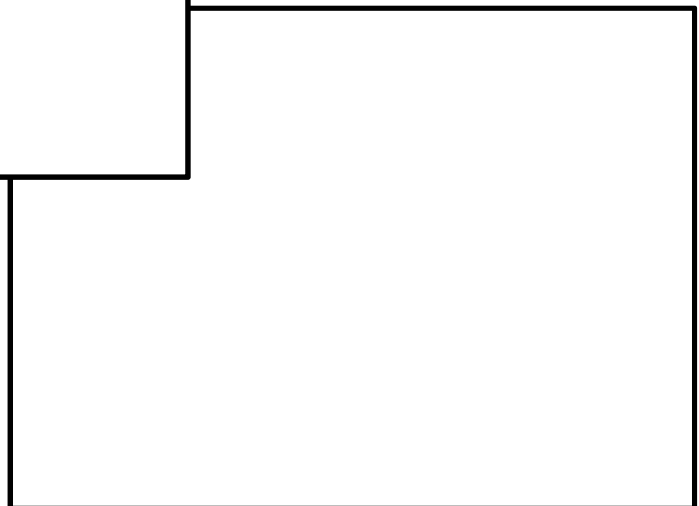


【現況と課題】

- 環境負荷※の少ない循環型社会の形成には、環境と共生する社会づくりが重要な課題となっています。そのため、市民一人一人が地域の環境を知り、環境にやさしいライフスタイルを心掛け、省エネルギーを実践するなどの環境意識の向上が求められています。
- 豊かな自然環境、生物多様性※の保全に対する市民の意識を啓発し、自然に触れる機会を持ち、環境保全活動に積極的に参加するなど、人と自然が共生する社会を実現するため、市民一人一人が環境に配慮した新たなライフスタイルを確立することが必要です。



{○○○○○○○}
○○○○○○○○○○



{○○○○○○○}
○○○○○○○○○○

【主な施策】

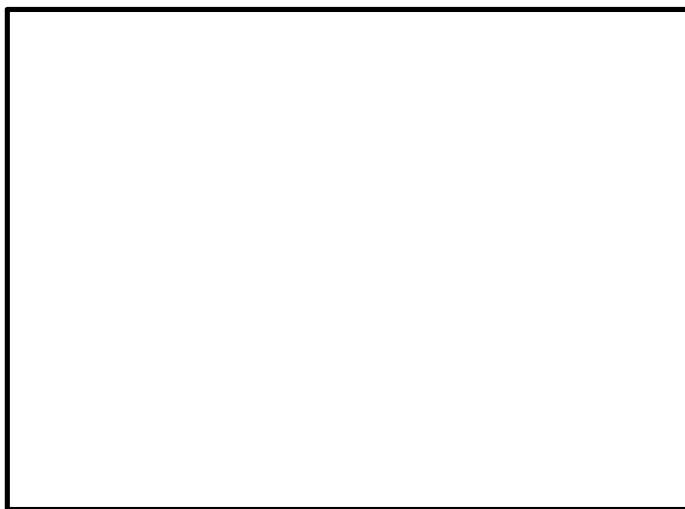
施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
環境学習機会の充実	環境への理解を深め、環境に関する取組への意欲を持てるよう、環境学習の機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ○クリーンセンターかしわざきの施設見学の実施 ○出前講座の実施 	環境課
環境保全活動の支援	小・中学校、地域コミュニティなどが取り組む環境保全活動への支援及び情報発信に努め、環境教育と美化活動への関心を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校が実践する地域美化活動の支援 ○クリーンデー柏崎による地域の美化意識の向上 ○ごみ減量のため、リユース・リサイクル及び食品ロス削減の推進 ○ノーマイカーウィークの実践 ○省エネ対策の取組 ○小中学生向け環境教育プログラムの充実 ○保育園向けにエコ教育の実施 	環境課
		<ul style="list-style-type: none"> ○森林の植栽や伐採作業の学習機会の提供 ○棚田の保全活動の実施 	農政課 農林水産課
環境と共生した地域づくり	資源循環への取組を柱とした体験学習プログラムの充実を図り、自然との共生を考える場を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学校（自然体験、環境・エネルギー教育、ライフスタイル教育）の推進 ○「里山の復元と創造」活動の展開 	柏崎・夢の森公園

○主要施策 2-8 年代に対応した健康づくりの推進

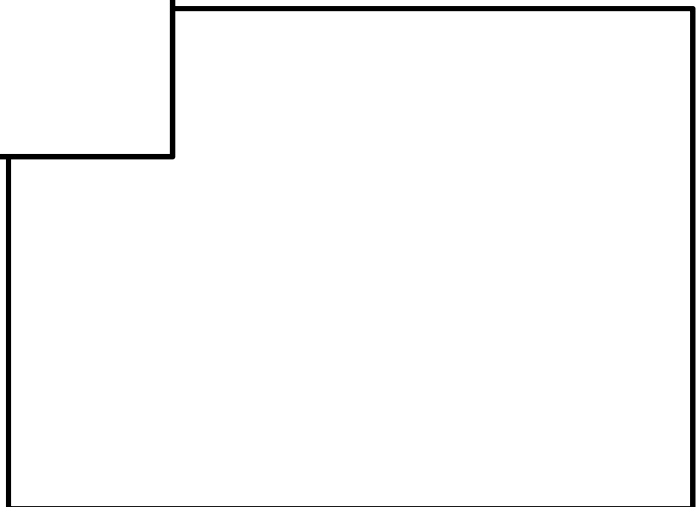
【現況と課題】



- 忙しい生活リズムの中で、偏った食生活や運動不足、喫煙、またはストレスなどが生活習慣病^{*}の増加につながるとの認識が深まったことから、健康に対する関心は高まっています。
- 健康づくりは市民一人一人が主体的に取り組むことが重要であり、取り組みやすく、継続しやすい環境を整えるために社会全体で支援する仕組みや体制づくりが求められています。
そのため、健康に関する知識や情報を基に、市民一人一人が健康状態に合わせて健康づくりを実践できるよう、年代に対応した健康教育、健康学習を推進する必要があります。
- 市民が主体的・継続的に健康づくりに取り組みやすくするため、地域・職域・関係機関と連携した支援が必要です。また、地域が主体となりサポートし合う環境づくりや健康に関する学習機会の充実が求められています。



〔○○○○○○〕
○○○○○○○○○○



〔○○○○○○〕
○○○○○○○○○○

【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
健康学習機会の充実	市民一人一人への健康に関する情報の提供を行うとともに、健康診査の受診促進と診断結果の有効活用を促進します。 また、年代に対応した健康教育を推進します。	○健康増進事業及び介護予防事業や広報、健康イベントなどを通じた普及啓発及び情報提供の充実	健康推進課 介護高齢課
		○ストレス対処法やうつ病に関する普及啓発や相談事業の推進	健康推進課
		○コツコツ貯筋体操 [*] の普及促進	介護高齢課
	食農教育を通じて、食の安全に対する理解を深める活動を実践します。 また、関係機関と協働して食育の取組を進めます。	○食料自給率、地産地消 [*] の情報提供や地場産品の普及啓発活動の充実	農政課
		○食の大切さを子どもに意識づける活動の推進	教育総務課 学校教育課
健康づくりを担う人材の育成	地域が主体となる健康づくりに向けて、地域において核となる人材を育成します。	○健康づくりを担う人材の育成 ○健康推進員研修会の実施 ○食生活改善推進員研修会の実施 ○ゲートキーパー [*] 養成事業の推進 ○ゲートキーパー [*] 研修修了民間団体「ハートスクラムかしわざき」のネットワークの充実	健康推進課
		○高齢者運動サポーターの養成・育成	介護高齢課

○主要施策 2-9 同和問題、人権問題の正しい理解 と平和教育の推進

【現況と課題】

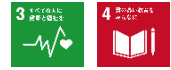


- 人権の問題は、家庭や学校、地域社会、職場など様々な場面で起こり得るものです。本市では、「柏崎市人権教育・啓発推進計画」を定め、様々な団体と協力しながら講演会、小・中学生への街頭啓発などの人権啓発活動を推進しています。学校教育では、人権尊重の精神を基盤とした学校づくりを進めています。また、令和3（2021）年11月13、14日に上越市で開催の第72回全国人権・同和教育研究大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面報告による開催となりましたが、全国の取組状況が記載されており、今後の資料として活用する必要があります。
- 子どもや女性、高齢者、障がいのある人、外国人、LGBTQ*、新型コロナウイルス感染症、同和問題*に起因する偏見や差別など様々な分野に及ぶため、市の関係課や関係機関が連携し、市民の人権問題に対する理解促進を図る必要があります。特に、同和問題*については、正しい理解と差別解消のための各種研修会、人権展などへの参加とともに啓発活動を推進しています。今後も日常生活の中で、同和問題*の正しい理解と差別の解消に向けた人権感覚を身に付けるような学習機会を提供する必要があります。
- 本市はこれまで、核兵器廃絶平和都市宣言*の精神に基づき、平和展の開催、市民・中学生を対象とした被爆体験者講演会を継続的に実施して、平和に対する教育や啓発を行ってきました。引き続き、平和への意識を風化させない取組が必要です。
- 平成18（2006）年度制定の「柏崎市男女共同参画*推進条例」に基づき「柏崎市男女共同参画*基本計画（かしわざき男女共同参画*プラン）」を策定し、市、市民、市民団体、事業者及び教育関係者が一体となって、男女共同参画*の意識づくり、政策や方針決定過程への女性の参画推進、ワーク・ライフ・バランス*（仕事と生活の調和）を推進してきました。今後、これまでの取組による効果と課題を踏まえた男女共同参画社会の実現に向けた取組をより効果的に進めることが重要です。

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
人権教育の推進	柏崎市人権教育・啓発推進計画に基づき、人権意識の向上を図る学習や啓発活動を推進します。	○人権尊重に関する学校・地域・事業所などでの学習・啓発活動 ○人権意識向上のための研修の実施	人権啓発・男女共同参画室 学校教育課 文化・生涯学習課 保育課 福祉課 人事課 総務課 市民課 介護高齢課 子育て支援課 こころの発達支援課 商業観光課（国際化協会）
		○人権啓発講演会の開催	人権啓発・男女共同参画室
		○各種団体が開催する人権に関する研修・講座などへの参加の呼びかけ	人権啓発・男女共同参画室 学校教育課 文化・生涯学習課
同和教育 [※] の推進	同和教育 [※] への正しい理解と差別解消に向けた学習や啓発活動を推進します。	○県同和教育研究協議会への参加 ○柏崎刈羽地区同和教育研究協議会への参加 ○人権・同和教育啓発推進講座などへの参加	学校教育課 人権啓発・男女共同参画室 文化・生涯学習課
		○同和教育に関する地域・事業所などへの啓発活動 ○人権教育行政担当研究協議会への参加 ○同和教育に関する市民講演会の開催 ○小・中学校における同和教育に関する授業公開の実施。また、講演会などへの住民参加のPR	文化・生涯学習課 学校教育課
平和事業の推進	平和に関する教育や啓発活動に努めます。	○市民・中学生などを対象とした被爆体験者等の講演会・平和展の開催	総務課 学校教育課
男女共同参画 [※] の推進	男女共同参画 [※] についての正しい理解と認識を深める学習機会を充実します。また、仕事と家庭が両立しやすい職場環境づくりに向けた啓発に努めます。	○市民団体等との協働による男女共同参画啓発事業の開催 ○ワーク・ライフ・バランス [※] （仕事と生活の調和）のためのセミナーの開催	人権啓発・男女共同参画室 （かしわざき男女共同参画推進市民会議）
		○DV [※] 防止講演会の開催	人権啓発・男女共同参画室 子育て支援課

○主要施策 2-10 支え合う地域づくりの推進



【現況と課題】

- 少子高齢化・核家族化・近隣関係の希薄化など社会構造の変化やライフスタイルの多様化などにより、日常生活における通院や買い物、冬期の雪処理などにおいて何らかの支援を必要とする要援護者が増加しています。このような状況に対応するためには、市民自らが地域課題に気付き、自ら解決策を考えて実践に移すボランティア活動や地域活動の活性化、市民・地域・行政の協働によるまちづくりが求められます。
- 中越沖地震被災時の地域における福祉活動の経験や近年の災害発生時に行われたボランティア活動を始めとした、様々なボランティア活動事例の紹介などにより、地域福祉課題に対して、町内会、子ども会などによる地域に根差した活動が行われるようになりました。
これからも、このような地域活動やボランティア活動に対して、より多くの市民の参加が望まれます。
- ボランティア活動などに対する認知度を高めながら、地域で支え合い、助け合えることができる人材の地域活動やボランティア活動への参加と育成が必要です。また、組織化に対する支援と活動に対する理解の促進に取り組むことが必要です。



{○○○○○○}

○○○○○○○○○○

【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
地域の福祉活動 人材の育成	地域福祉活動に携わり牽引できる知識と能力を持つ地域福祉活動リーダーの育成を進めます。	○ボランティアコーディネーターの研修 ○ボランティア養成講座の実施 ○地域福祉活動リーダーの育成 ○地区福祉組織活動の支援	社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会
		○認知症サポーター [*] の養成・育成 ○くらしのサポーター [*] 講座の実施	介護高齢課
福祉教育の推進	相互に助け合う地域社会の実現に向けて、市民に地域社会の構成員としての役割と責任を促します。 また、ボランティアを始めとする地域福祉活動に対する理解を促進するための啓発活動に努めます。	○福祉教育の推進 ○地区福祉組織活動の支援	社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会
		○認知症キャラバンメイト [*] 活動の支援	介護高齢課
		○障がいを理由とする差別の解消の推進及び障がいのある人への理解の促進 ○成年後見制度 [*] の普及・啓発 ○障がいのある人への虐待防止の推進	福祉課
協働のまちづくりの推進	協働のまちづくりを進めるため、市民活動団体及び地縁団体が主体的に行う公益活動を支援します。	○市民の自発的な活動の広報 ○市民活動団体への支援とネットワーク体制の確立	市民活動支援課 (市民活動センター [*])
		○生活支援コーディネーター [*] の活動推進と地域の支え合い推進会議の開催	介護高齢課

◇重点目標 3：地域を学び、地域の未来につなげる ひとづくり・まちづくり

○主要施策 3-1 地域資源を活用した学習機会の充実

【現況と課題】



- 市民が地域に誇りや愛着をもち、個性と魅力あふれるまちづくりを進めるには、地域の歴史や文化、風土を大切にするとともに、それに磨きをかけることが重要です。また、地域の歴史・文化資源に対する市民の関心や理解を深めるとともに、その成果を活用したボランティアガイドの育成につなげることで後世に受け継ぐための環境づくりにつながります。
地域の歴史・文化資源の学校教育への活用を図ることも必要です。このため、地域の歴史や文化を発掘し、それを保全していくことやそれが市民の共有財産として活かされ、後世に受け継ぐ環境づくりなどの取組が求められています。
- 自分たちの住んでいる地域の文化を再発見することで、魅力ある地域づくりにつなげ、活動を承継することが必要です。
- 地域の魅力や価値の源となる地域の資源は一層重要になります。すでに活用されている地域資源はもとより、価値を有しながらも活用されていない文化・人材などを再発見し、学習資源として活用する必要があります。



〔○○○○○○〕

○○○○○○○○○○

【主な施策】

施 策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
伝統文化の承継	伝統文化は後継者不足の課題があることから、後継者育成などの環境づくりに努めるとともに、子どもたちを対象にした伝統文化の体験や、習得機会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ○綾子舞の保存・伝承・後継者の育成 ○地域伝統芸能の保存・伝承・後継者の育成 ○児童・生徒の伝統文化体験、習得機会の充実 	博物館 文化・生涯学習課 学校教育課
文化財・収蔵資料の活用	出土資料を整理・デジタル化するとともに、冊子・遺跡マップなどによる情報提供を行い、その活用に努めます。 また、市内にある国県市の指定文化財等の基本調査を行うとともに、図書館・博物館が収蔵する資料のデジタル化とその活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座の拡充 ○遺跡記録類や出土資料の整理 ○遺跡調査成果や出土資料の冊子・遺跡マップの作成 	博物館
		<ul style="list-style-type: none"> ○指定文化財等の基本調査を実施 	博物館
		<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵資料のデジタル化と活用 	博物館 図書館
		<ul style="list-style-type: none"> ○柏崎市WEBミュージアム※の活用をPR 	博物館
地域資源の活用	地域の歴史・文化資源に対する市民の関心や理解を深めるとともに、その成果を活用した探訪コース設定やボランティアガイドの養成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史文化探訪コースの設定及びボランティアガイドの養成 	文化・生涯学習課 商業観光課
		<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティセンターや学校における地域資源を活用した学習の推進 	市民活動支援課 (各コミュニティセンター) 学校教育課

○主要施策 3-2 文化活動の支援と鑑賞機会の充実



【現況と課題】

- 文化や芸術活動は、市民の主体的かつ自発的な個々の活動が互いに結び付き、活動の領域が広がることが期待されます。
- 文化や芸術を身近に感じ、親しむことのできるまちづくりを目指すには、市民の文化、芸術活動を支援し、次世代を担う子どもたちを含む多くの市民が、文化や芸術に親しむことができる鑑賞機会を提供することが重要です。
- 文化会館アルフォーレなどの文化施設の利便性の向上を図り、市民が主体的に文化や芸術活動に親しめる場として定着していくことが必要です。
また、各種の文化団体や市民の文化活動などへの支援を引き続き行っていく必要があります。

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
文化や芸術に親しむ機会の充実	文化会館アルフォーレを拠点とした良質な芸術作品の鑑賞や文化芸術に親しむ機会を充実します。 また、小中学生が文化芸術に親しむ様々な体験機会を提供します。	○文化会館アルフォーレでの鑑賞事業・普及育成事業の充実 ○市美術展覧会の開催 ○小中学生への芸術文化体験機会の提供	文化・生涯学習課 学校教育課
文化活動の推進	文化活動を振興するため、市民の発表や公演などの活動を支援します。	○文化団体などへの情報提供と活動支援	文化・生涯学習課
		○社会教育団体への活動支援（市民プラザ使用料減免など）	文化・生涯学習課
文化施設の保存・活用	歴史的な文化施設の保存・活用を図るために必要な修復を進めます。	○文化施設の維持管理と活用	博物館

○主要施策 3-3 国際交流機会の促進と

多文化共生社会の実現

【現況と課題】



- 経済のグローバル化^{*}や流動化する国際社会において、引き続き友好都市（注1）などとの国際交流を進め、世界とのつながりを深めるための国際交流の機会を促進することが重要です。
- 市内には、多くの外国籍の方が在住しています。多様な学習・交流機会の提供やその成果の活用などを通じ、市民一人一人が国際理解を深め、国際感覚を身に付けることにより、国籍や民族などの違いにかかわらず、互いの文化を認め合い、外国人住民がパートナーとして地域社会活動へ参画できる多文化共生^{*}社会の実現を関係団体と連携して進めることが必要です。



〔○○○○○○〕

○○○○○○○○○○

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
交流機会の推進	友好都市などとの交流を推進します。 また、青少年の国際理解を深めるため、交流機会や研修を充実します。	○友好都市・友好交流都市とのつながりを深める交流の推進	商業観光課 公益財団法人柏崎 地域国際化協会
多文化理解の推進	外国人住民との相互理解を深めていくための講座等の充実を図ります。 また、外国人住民が安心して暮らせる環境整備に努めます。	○語学文化講座や多文化理解講座の実施 ○多文化交流会の開催 ○通訳、翻訳、生活相談、日本語支援等の実施 ○言語文化サポーター [*] 研修や防災訓練での多言語支援センター設置研修等の実施	商業観光課 公益財団法人柏崎 地域国際化協会

注1) 柏崎市の友好都市・友好交流都市

- ・友好都市：中華人民共和国 江蘇省淮安市淮安区、四川省峨眉山市
- ・友好交流都市：中華人民共和国 湖北省宜昌市

◇重点目標 4 : スポーツを楽しみながら次世代につなげる ひとづくり・まちづくり

○主要施策4-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりの推進

【現況と課題】



- 市民一人一人がライフステージに応じてスポーツに親しみ、活動できるように、スポーツレクリエーション祭や障がい者スポーツの普及など各種取組を実施してきました。今後、更に多くの市民が、気軽にスポーツに接し、楽しく活動していくためには、それぞれのライフスタイルに沿ったスポーツ活動ができる環境の整備が必要です。
- あらゆる世代の市民が生涯スポーツに参加できる機会を提供するため、地域とスポーツ推進委員が連携して推進活動を実施しています。さらに、生涯スポーツや競技スポーツによる地域づくりを推進するために、青少年の健全育成や個人の健康維持・趣味の観点から、自らがスポーツを「する」だけでなく、生きがいづくりや地域での交流など様々な観点からスポーツを「みる」「支え育む」「知る」など、多様な関わり方ができる環境を整える取組が大切です。
- 今後、水球を始め、各種国内トップレベルの競技大会開催を支援するなど、多様なスポーツ活動を盛んにすることが必要です。

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
生涯スポーツ・競技スポーツの推進	幅広い年齢層の市民が気軽に生涯スポーツや競技スポーツに参加し、楽しみ、運動習慣を身に付けて元気な生活を送れる環境を充実し、健康づくりを進めます。 また、スポーツレクリエーション行事やスポーツを通じた交流の推進を図り、地域づくりや生きがいづくりを進めます。	○スポーツ健康づくり事業の推進 ○総合型地域スポーツクラブ*の支援 ○市民登山の実施 ○柏崎スポーツレクリエーション祭の開催 ○元朝体操会の実施 ○小学生サッカースクールの実施 ○市民スキースクールの実施 ○市民ウォーキング大会の実施 ○ニュースポーツ・パラスポーツ体験フェア&こどもの遊びの広場の実施	スポーツ振興課 (スポーツ推進委員協議会) (一般財団法人柏崎市スポーツ協会) 文化・生涯学習課 福祉課
		○各種スポーツの国内トップレベルの公式戦の開催	各実行委員会
		○柏崎マラソンの開催 ○柏崎潮風マラソンの開催	スポーツ振興課 (柏崎マラソン実行委員会) (柏崎潮風マラソン実行委員会)

○主要施策4-2 スポーツ施設等の整備・充実



【現況と課題】

- 市内には総合体育館や武道館、陸上競技場、佐藤池運動広場、県立柏崎アクアパーク、スポーツハウス、西山総合体育館、白竜公園テニスコート、駅前公園テニスコートなどの体育施設があります。また、地域のスポーツ活動のための施設として、学校施設開放事業で活用している市内の小中学校など31か所の体育館・グラウンドがあり、さらに27（注2）か所の地域コミュニティセンターの講堂（体育館）があります。
- いずれの施設も、計画的な施設の整備・充実に努めるとともに、指定管理者と連携しながら効率的な管理・運営を行い、市民がスポーツ活動をしやすい環境づくりに努める必要があります。

【主な施策】

施策	施策の考え方	施策の内容	事業主体
スポーツ施設の充実	利便性の向上や利用者の安全性確保、競技力の向上などを十分考慮し、指定管理者と連携した施設の整備・充実に計画的に進めます。	○佐藤池野球場の整備 ○武道館の整備 ○陸上競技場の整備 ○その他スポーツ施設等の整備	スポーツ振興課
学校施設などの活用	学校体育施設の開放を充実し、地域に開かれた学習施設としての活用を図ります。また、計画的な整備・充実に努めます。	○学校開放事業の充実	スポーツ振興課
		○小中学校体育館及びグラウンドの整備・充実	教育総務課
コミュニティセンター施設の活用	コミュニティセンターを拠点とした生涯スポーツを推進します。また、施設の整備・充実に努めます。	○コミュニティセンターを活用した生涯スポーツの推進	市民活動支援課（各コミュニティセンター） スポーツ振興課（各地区体育協会）
		○コミュニティセンターを拠点とした地域スポーツ推進のための施設整備	市民活動支援課

注2) コミュニティセンターは27か所あるが、講堂がある施設は25か所です。

用語解説 本文中の※印の付いた用語の解説

	用語	解説	掲載ページ
アルファベット	ICT (アイ・シー・ティ)	Information and Communication Technology の略。情報通信技術を意味する。	1、4、6、8
	BP (ベビープログラム) 講座	はじめての子育てをするお母さん同士が、育児について話し合いながら、子育てに必要なことを学ぶ講座	14
	DV (ドメスティック・バイオレンス)	Domestic Violence の略。配偶者や恋人などの親密な関係にあるパートナー間で振るわれる暴力。身体的、精神的、性的、経済的、社会的な暴力がある。	37
	LGBTQ (エル・ジー・ビー・ティー・キュー)	セクシュアルマイノリティ (性的少数者) を表す言葉で、性的指向や性自認を意味する英語の頭文字を取って作られた。Lesbian (レズビアン) は、同性を恋愛の対象とする女性、Gay (ゲイ) は、同性を恋愛の対象とする男性、Bisexual (バイセクシュアル) は、同性も異性も恋愛の対象となり得る人、Transgender (トランスジェンダー) は、体の性と心の性が異なる人、Questioning (クエスチョニング) または Queer (クイア) は性的指向や性自認が定まっていない人を意味する。	36
	SDGs (エス・ディー・ジーズ)	持続可能な開発目標【Sustainable Development Goals の略】 【SDGs (持続可能な開発目標) の詳細は、11頁を参照してください。】	1
	SNS (エス・エヌ・エス)	Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略で、Web上でソーシャル (社会的な) ネットワーキング (繋がり) を提供するサービスを意味する。代表的な SNS には「Facebook」「Twitter」「Instagram」「LINE」があります。	4、12、13
	用語	解説	掲載ページ
あ行	いきいき県民カレッジ	新潟県知事を学長として生涯学習社会の実現に向けて「いつでも、どこでも、自分の希望するものを学びたい」という県民の要望に応えることを目的として行っている講座	13、17
	インターンシップ	学生の就業体験の機会を提供する制度。実際に企業に赴かせ、職業選択、適正の見極め等を目的に一定期間、職場体験をさせる。	31
	エイジレスコース	全年齢を対象とした年代を超えて行われる公民館講座	15
	親子わんだーランド「生き、生き、子育て！」	かしわざき男女共同参画推進市民会議が主催する子育て支援イベント	29

	用語	解説	掲載ページ
か 行	核兵器廃絶平和都市宣言	本市が平成22(2010)年1月1日に行った宣言で、世界で唯一の被爆国の国民として、地球上のあらゆる核兵器の廃絶と平和な世界の実現を強く望み、平和を愛する世界の人々とともに、未来を担う子どもたちと美しいふるさとのために、市民一人一人が平和の実現に向けて努力することを誓ったもの。	36
	柏崎市WEBミュージアム	柏崎市の地域史資料を画像付きで閲覧検索できるWEBサイト	41
	かしわざき市民大学	広く市民が幅広い知識を習得することにより、学ぶ喜び・楽しみ・生きがいを発見し、地域社会の活力につなげることを目的として、地元大学と連携し、多様な学習機会を提供する講座の名称	14、 15
	柏崎公民館	市民プラザ内に所在を置く、柏崎市の公民館。他に27か所の地域コミュニティセンターが公民館分館を兼ねている。 公民館は、住民の教養の向上・健康の増進・情操の純化などを図るため、社会教育法に基づいて市が設置した。講習会・学習会・集会など住民の自主的な社会教育活動の場として提供されている。	14、 17、 18
	学校読書支援員	市内の小学校を巡回し、読書支援(学校図書室の資料整備、児童・生徒への図書紹介、学校内でのブックトークや読み聞かせ、学校図書委員会活動の支援など)を行う者	23
	環境負荷	人の活動により、環境に加える影響の中で、環境の保全上、支障の原因となるおそれのあるものをいう。	32
	キャリア教育	企業や経済団体における職業体験やインターンシップ等を通して、社会で生きていく上で必要な能力や態度を育てる教育	24
	くらしのサポーター	住民を主体とした地域での支え合い活動を推進するため、本市が育成した高齢者ボランティア等で多様な生活支援サービスを担う者	39
	グローバル化	政治・経済、文化など、様々な側面において、ヒト・モノ・カネが、国境を越えて世界的なつながりを持ち、いっそう自由に移動できるようになること。	43

	用語	解説	掲載ページ
か 行	ゲートキーパー	門番という意味で、悩んでいる人に気付き、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。 行政や相談窓口担当者だけでなく、地域のボランティア、家族や職場の同僚、友人等の様々な立場の人たちが、その役割を担うことが期待されている。	35
	言語文化サポーター	外国文化の紹介や、コミュニティ通訳、イベントの運営など、言語スキルや異文化コミュニケーション能力等を活かした活動を行う人のこと。	43
	コツコツ貯筋体操	介護予防を目的として、本市が全国に先駆けて取り組んできたオリジナル体操	35
さ 行	シニアコース	おおむね60歳以上を対象とした公民館講座	15
	ジャングルキッズ	ワクワクタイム等を実施する元気館施設内の部屋の名称	29
	生涯学習地域人材バンク	地域の様々な生涯学習の場で指導者や講師などとして活躍できる人を登録した人材バンク。職業・趣味・生活などで身に付けた知識・技術・体験について様々な生涯学習の場でいかしたいという思いを持った人が、登録を承諾されている。	17、 20、 21
	市民活動センター	平成27(2015)年11月5日に喬柏園(旧柏崎公会堂)をリノベーションし、開設した施設で、公益活動を行う市民活動団体やNPO団体の活動拠点となる施設 愛称は「まちから」といい、「まち」「力」「〇〇から」を組み合わせたもので、まちづくりの拠点となる施設を目指している。 また、中越沖地震メモリアルを併設しており、メモリアル展示も実施している。	39
	スキルアップ研修	仕事に必要な技能や技術を身に付け、レベルアップする研修	25
	すくすく広場	生後2か月、5か月、12か月の赤ちゃんを持つ親を対象に実施する子育ての学級	29

	用語	解説	掲載ページ
た 行	生活支援コーディネーター	高齢者の生活支援、介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援、介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者	39
	生活習慣病	不適切な食事、運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その病気の発症や進行に大きく関与する病気（肥満、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管疾患、がん、認知症など）の総称。かつては成人病と呼ばれていた。	34
	成年後見制度	判断能力が不十分な人を保護し、その人の財産や権利を守り、支援する制度。法定後見制度と任意後見制度の2つがあり、前者は、家庭裁判所によって選任された成年後見人などが保護・支援する。后者は、将来に備え、自ら選んだ任意後見人と代理権限を与える契約を結んでおく。	39
	生物多様性	様々な自然があり、そこに特有の個性を持つ生物がいて、それぞれ命がつながり合っており、多様性があること。現在、多くの国と地域で、自然環境の悪化に伴い、この多様性がこれまでにない早さで失われている。	32
	総合型地域スポーツクラブ	日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、平成7年から文部科学省が実施するスポーツ振興施策の一つで、幅広い世代の人々が各自の興味・関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブ	44
た 行	多文化共生（社会）	国籍や民族などの違いにかかわらず、互いの文化を認め合い、外国人住民がパートナーとして地域社会に参画し、共に生きていく（社会の）こと。	9、 43
	男女共同参画（社会）	「男性だから、女性だから」ということで活動の場を制限されることなく、男女が互いの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮して協力し合う（社会の）こと。	36、 37
	地域防犯リーダー	地域における自主防犯活動の中心となる指導者	27

	用語	解説	掲載ページ
た 行	地域学校協働活動	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携、協働して行う様々な活動のこと。	24
	地産地消	地元で生産された農林水産物や資源を地元で消費すること。	35
	デュアルシステム	実践的な技能・技術を身に付けるため、学校と企業が連携して生徒を育市江する職業教育のこと。インターンシップよりも長期間で行われる。	31
	同和教育（問題）	単に部落差別の問題（同和教育問題）のみを取り上げる教育ではなく、人の心の中の様々な差別に正しく向き合い、正しい知識に基づき、差別を見抜き、偏見をなくそうとする態度と力を育てる教育	36、 37
	トキちゃんクラブ	正しい交通ルールとマナーを身に付けてもらうために幼児を対象に行う各種交通安全教室	27
な 行	なぎさ体験塾	姉妹都市の東京都東村山市等の小学生が柏崎市の小学生と柏崎の自然をいかし、海洋スポーツや宿泊体験などを通して、豊かな人間性や社会性を育むことを目的に開催する交流活動	14
	認知症キャラバンメイト	認知症サポーターを養成する講座を開設し、講師役を務める者	39
	認知症サポーター	認知症サポーター養成講座を受けた者で、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で活動をする者	39
	新潟県生涯学習情報提供システム『ラ・ラ・ネット』	新潟県が県民の主体的な学習活動を支援することを目的として、インターネットを通じて広く県内の生涯学習に関する情報を提供するもの。	13
は 行	パパママセミナー	妊婦とその夫を対象にした妊娠中の過ごし方や出産の準備、育児などについての講習会	29

	用語	解説	掲載ページ
は 行	ふれあい講座	市民の要望に応じ、市職員や国、県の職員が会場へ出向き、行政の取組や事業について説明する出前講座	5、13、 15、16、 21、26、
	防災士	特定非営利活動法人日本防災士機構による民間資格。機構の定めたカリキュラムにより、防災力を高めるための十分な知識と技能を習得した者が認定される。	27
	防災リーダー	防災力を高めるために、リーダーシップを発揮し、地域防災活動の中心的な役割を担う者	27
	ものづくりマイスター カレッジ	ものづくりを担う若手技能者の養成を目的に、熟練技能者による実技指導と大学教授等による座学指導により、技術・技能のスキルアップを図る研修事業。	31
わ 行	ワーク・ライフ・バランス	一人一人がやりがいや充実感を持って働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域でもライフステージに応じて多様な生き方が選択・実現できるようにすること。	36、 37
	ワークサポート柏崎	若年層を始めとした、就業全般に関する相談ができる機関。ハローワーク柏崎と連携して開設された。	16
	ワクワクタイム	元気館のジャングルキッズ(部屋)で行う親子の触れ合いの時間	29



マナビィ

「マナビィ」について

文部科学省の依頼により、故・石ノ森章太郎（漫画家）が無償でデザインした生涯学習のマスコットマークです。生涯学習の「学ぶ」とみつばちの「Bee」を合わせ、「マナビィ」と名づけられました。

令和4（2022）年3月発行
第四次 柏崎市生涯学習推進計画

編集 柏崎市教育委員会 文化・生涯学習課

発行 柏崎市

〒945-0051 柏崎市東本町1-3-24 市民プラザ内

電話 0257-20-7500 FAX 0257-22-2637
